

令和	6	年度	年間授業計画	教科	芸術	科目	書道Ⅱ						
教科：	芸術		科目：	書道Ⅱ		単位数：	2	単位					
対象学年組： 第 2 学年													
教科担当者：		A・B組	宮本弘	C・D・E組	宮本弘	F・G組	宮本弘						
使用教科書：		書道Ⅱ（教育出版） 副教材：「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」（教育図書）											
教科 芸術 の目標：													
【知識及び技能】		書の実現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。											
【思考力、判断力、表現力等】		書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。											
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。											
科目 書道Ⅱ の目標：													
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【学びに向かう力、人間性等】							
書の実現の方法や形式を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。			書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の実を味わい捉えたりすることができる。			書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。							
1 学 期	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
					漢 仮								
	単 元 1 書の実を求めて		指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。		○	○	○	6
	【知識及び技能】		・指導事項					【知識及び技能】					
	書の伝統と文化を知り、深く味わう。		文房四宝 用具・用材について					①用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。					
	【思考力、判断力、表現力】		・教材					【思考力・判断力・表現力】					
	創造的な表現をするための書の実を味わう。		筆・墨・硯・紙					①用具・用材から表現性の相互関連を理解している。					
	【学びに向かう力、人間性等】		・一人1台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】					
	芸術を愛好する心情を育む。		まなびリンク					①様々な用具・用材による多様な書の実の表現の広がり、効果の違いについて理解している。					
	単 元 2 書の世界		指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。		○	○	○	8
	【知識及び技能】		・指導事項					【知識及び技能】					
	書の伝統と文化を知り、それに基づいて必要な技能を身につける。		姿勢・執筆 古典の学び方					①中学校国語科の書写での学習を振り返り、書写から書道への広がりを理解している。					
	【思考力、判断力、表現力】		・教材					【思考力・判断力・表現力】					
	創造的な表現をするための書の実を味わう。		教科書					①書や文字の意味や価値・表現の効果について、芸術家の視点から考えている。					
	【学びに向かう力、人間性等】		・一人1台端末の活用（場面）					【学びに向かう力、人間性等】					
	芸術を愛好する心情を育む。		まなびリンク					①生活の中で学習を活かしていくことに積極的に取り組んでいる。					
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説				○			次の観点別評価規準に従い評価する。		○	○	○	8
	単 元 3 漢字の書の学習		指導項目に対し、次の教材等を活用する。					【知識及び技能】					
	【知識及び技能】		・指導事項					①書の実の多様性に気づき、既得の知識を再確認している。					
	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその効果との関わりを理解する。		書体の変遷 拓本と碑について					【思考力・判断力・表現力】					
	【思考力、判断力、表現力】		・教材					①生活や社会における書の効用について考え、味わっている。					
	意図に基づいた表現について構想し、工夫する。		教科書					【学びに向かう力、人間性等】					
	【学びに向かう力、人間性等】		・一人1台端末の活用（場面）					①主体的に学習に取り組んでいる。					
	主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。		まなびリンク		○			次の観点別評価規準に従い評価する。		○	○	○	4
	単 元 4 楷書の学習		指導項目に対し、次の教材等を活用する。					【知識及び技能】					
	【知識及び技能】		・指導事項					①名筆による書の実と用筆・運筆との関わりについて理解している。					
	書体や書風と、用筆・運筆の技能を身につける。		唐の四大家 書風の分析					【思考力・判断力・表現力】					
	【思考力、判断力、表現力】		・教材					①線質、字形、構成などの要素と、風趣について理解している。					
	古典の書体や書風に即した表現について構想し、工夫する。		教科書 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑					【学びに向かう力、人間性等】					
	【学びに向かう力、人間性等】		・一人1台端末の活用（場面）					①反復的な活動の積み重ねによって学習を深めていこうとしている。					
	主体的に漢字の書の幅広い表現活動に取り組む。		まなびリンク 比較と分析		定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説								

教 科：**藝術**

科 目：書道Ⅱ

单位数：

2

单位

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者:	A・B組	宮本弘	C・D・E組	宮本弘	F・G組	宮本弘								
使用教科書:	書道Ⅱ（教育出版） 副教材：「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」（教育図書）													

教科 **芸術** の目標：

【知識及び技能】	書の実現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の内容の理解や表現の技法を幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の内容の理解に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書の内容の理解や表現の技法を感受し、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の内容の理解と文化の意味や価値を考え、書の内容の理解を味わい捉えたりすることができる。	書の内容の理解や表現の技法を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]

教科担当者：	A・B組	宮本弘	C・D・E組	宮本弘	F・G組	宮本弘								
使用教科書：	書道Ⅱ（教育出版） 副教材：「神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序」（教育図書）													

教科 **芸術** の目標：

【知識及び技能】	書表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深める。書の伝統に基づき作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	書のおよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫したり、伝統と文化の意味や価値を考える。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の内容の理解を深めるとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書の内容や美しさを感じ取り、意図に基づいて創造的に構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の内容や美しさを伝えたりすることができる。	書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]